

2009年度

# 環境活動レポート

(活動期間 2009年4月～2010年3月)



before

十分に考慮した  
貸貸リノベーション。  
明るく生まれ変わった間取りに  
オーナー様も大満足。

南区西長住2-1-63 01092-553-3320  
<http://www.mrs-reform.com>

mytown@

## 地域の井戸を無料で水質検査

長丘で24年目 (株)新日本環境コンサルタント

浄水器を設置したり、ベイトロ入り水を買ったり、おいしい水。安全安心の水への関心が高まる昨今、やっぱり井戸水が美味しいと思うのだけど、飲み水として大丈夫かしらと、

「昭和52年に柳河内」で創業し、81年に「長丘3丁目」に新社屋を建てて移転してきました。これまで社員が交代で大塚公園や榎井川の清掃ボランティアなどをしてきましたが、此の地で長年仕事ができるのも地域あつてこそ

### 地域貢献で地もとに恩返し

「先日のよう  
あると地下水の  
変化が起きるこ  
ので、この機会に  
を受けてみて下  
同社では話して  
【雨い合わせ】  
05018871  
05018871  
(株)新日本環境  
コンサルタント「南区長  
25-15環境ビル」

ここで我々の専門性が生かせる技術で、地元へ恩返しをし、ようとして無料検査を思い立ったのです」と同社の山崎部長。検査は、理化学試験10種と細菌試験2種の12項目にわたり、通常依頼すると約1万円かかるもの。今回の井戸水無料検査は、事前に電話で「まいい、たうんで見た」と告げると専用の容器を貸してもらえるので、それに自宅の井戸水を採取し、同社に持ち込めば検査をしてくれる。結果は1週間ほどでわかるという。

株式会社 新日本環境コンサルタント

2010年5月

# 1 . 組織の概要

---

- 1.1 事業所名 株式会社 新日本環境コンサルタント  
代表者名 代表取締役 津村 英介
- 1.2 所在地 本社 〒815-0075 福岡市南区長丘3丁目25-15  
研究所〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目12-30
- 1.3 環境管理責任者 技術部長 徳永 隆司  
担当者氏名 総務部長 山崎 仁子  
連絡先 TEL (092) 561-8716 FAX (092) 561-4791  
Eメールアドレス [shinnihon@enjec.com](mailto:shinnihon@enjec.com)  
URL <http://www.enjec.com>
- 1.4 事業の内容 濃度計量証明及び環境試験調査
- 1.5 事業の規模 設立年月 1977年10月 事業年度 4月～翌年3月

## 2 . 環境方針

---

### 環 境 方 針

株式会社 新日本環境コンサルタントは、地球環境保全のため、環境負荷の低減に配慮した事業活動に取り組み、環境への負荷を継続的に削減すると共に循環型社会の構築に貢献します。

- 1 . 事業活動において、エネルギーと水の消費量を削減します。
- 2 . 廃棄物は適正に処理を行い、削減とリサイクルに努めます。
- 3 . 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守します。
- 4 . 社会と地域の環境保全に貢献します。
- 5 . 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

2009年5月28日  
株式会社 新日本環境コンサルタント  
代表取締役 津村 英介

### 3 . 環境目標とその実績

---

環境負荷及び取組の自己チェック結果をもとに、環境目標を設定しました。

二酸化炭素排出量の削減については、当社の排出源として、自動車の利用に伴う燃料の使用、都市ガスの使用及び電気の使用がありますが、自動車の燃料については、業務の範囲が九州一円で、毎年、自動車の走行距離が大きく異なることから、環境目標の中では取り扱わないこととしました。また、都市ガスについても湯沸しに利用する程度で、使用量が少ないため、取り扱わないこととしました。二酸化炭素排出量の削減目標量は電力量と都市ガス使用量を合わせて前年度比マイナス 1.5% としました。

廃棄物排出量の削減については、廃液・汚泥の排出量(廃棄物の最終処分量)の削減に取り組むと共に、事務用紙の購入量の削減と紙類のリサイクルを取組目標としました。廃液・汚泥の排出量の削減目標値は受注した分析業務の内容に左右されるため、前年度以下という目標に留めました。

総排水量の削減については、下水道放流であることから給水量の削減を目標とし、前年度比マイナス 2% としました。

その他、環境経営システムに関わる項目について、自己チェックを行った結果、「情報提供、社会貢献、地域の環境保全」の項目について評価が低かったこと、また、当社は水質、土壌等に関する環境関連の計量業務を行っていることから、地域の環境保全への協力を積極的に実施することとしました。特に、今年度から、当社の得意分野である水質の測定業務を生かし、「地域の井戸水等の飲用水の無料検査」を実施しました。また、会社の発展と社会の環境保全の両方を見据えた活動として、「社員の環境関連資格の取得の支援」に取り組みました。

表 1 過去 3 年の目標と実績

環境目標	取組目標		2007 年度	2008 年度	2009 年度
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (-1.5%)	購入電力量の削減 (-2%) 総量(CO <sub>2</sub> Kg)	目標 *	-	132,651 以下	124,403 以下
		実績 *	133,979	126,298	127,927
廃棄物排出量の削減	紙購入量の削減 (-2%) 購入量 (枚)	目標	-	182,100 以下	185,710 以下
		実績	184,500	189,500	249,500
	紙リサイクルの促進(+3%) 利用量 (Kg)	目標	-	944 以上	2,675 以上
		実績	926	2,598	927
	廃液・汚泥の減量 (前年以下) 処分量 (Kg)	目標	-	7,817 以下	7,542 以下
		実績	7,817	7,342	7,126
総排水量の削減 (-2%)	節水の実施 (-2%) 水量(m <sup>3</sup> )	目標	-	2,432 以下	2,253 以下
		実績	2,464	2,299	2,585
地域の環境保全への貢献	地域環境活動への参加 (人)	目標	-	15 以上	20 以上
		実績	-	19	22
	社員の環境資格の取得 (人)	目標	-	-	3 以上
		実績	-	-	9

\* : 電力量 + 都市ガス量

表 1 に過去 2 ヶ年の実績と 2009 年 4 月から 2010 年 3 月まで、E A 21 を運用した結果を示します。

二酸化炭素排出量の削減ではマイナス 1.5%、廃棄物排出量の削減では紙の購入量の削減でマイナス 2%、総排水量の削減では節水の実施でマイナス 2%の目標値を掲げて取り組みましたが、いずれも 2 ~ 30%の増加となり、目標値を達成することができませんでした。未達成の原因は業務量の増加、すなわち社員数の増加 (26 から 30 人) 土曜の交代出勤の実施によるものと考えています。

地域の環境保全への貢献では、目標を大きく達成し、特に本年から実施した社員の環境資格の取得支援では 9 名が臭気判定士等の資格を取得することができました。

表2 今年度と来年度の目標

環境目標	取組目標	単位	2010年度	2011年度
CO <sup>2</sup> 排出量の削減 (-1.5%)	購入電力量の削減 (-2%)	年間総量 (CO <sub>2</sub> Kg)	126,008 以下	124,117 以下
廃棄物排出量の削減	紙購入量の削減 (-2%)	年間購入量 (枚)	244,510 以下	239,619 以下
	紙リサイクルの促進(+3%)	再利用量 (Kg)	954 以上	983 以上
	廃液・汚泥の減量 (前年以下)	処分量 (Kg)	7,126 以下	7,126 以下
総排水量の削減 (-2%)	節水の実施 (-2%)	年間総量 (m <sup>3</sup> )	2,533 以下	2,482 以下
地域の環境保全への貢献	地域環境活動への参加	1点 / 1回	30 点以上	30 点以上
	社員の環境資格の取得	5点 / 一人		

表2に今後2年間の目標を示します。削減率の目標値は2009年度と同様にしました。ただ、2009年度の活動結果で現れたような業務量の変化に伴う管理値の変動は、当社の業務内容から止むをえないことと考えていますが、社員一丸となって目標の達成に努力していきます。

地域の環境保全への貢献については、来年度から管理値の単位を述べ人数から点数制に変更します。理由としては、地域環境活動の場所が限定されるため社員の居住地によっては参加が大きく制限され、活動できる社員が特定されることにあります。

## 4 . 主要な環境活動計画の内容

---

環境活動の実行については、「エコアクション活動手順書」を作成し、活動しました。活動の内容は以下の通りとしました。

### 4.1 二酸化炭素排出量の削減（前年比 1.5%）のための取組

電気使用量の削減（使用量の 2 %削減）

エアコンの適温化の徹底

エアコンの保守点検

昼光の利用、不在時の消灯、昼休みの消灯

### 4.2 廃棄物排出量の削減のための取組

紙購入量の削減（前年度比 2 %削減）

両面コピーの実施、片面使用紙の再利用

紙類のリサイクル（前年度比 3 %増）

段ボール等のリサイクル

廃液・汚泥の減量化（前年度以下）

廃棄物の法令に基づく適正処理の実施

廃液・汚泥の減量化（前年度以下）

### 4.3 総排水量の削減のための取組

節水の実施（前年度比 2 %削減）

水道水の漏水のチェック

節水活動の推進

### 4.4 地域の環境保全活動への貢献

環境活動への参加と環境資格の取得

大濠公園と樋井川の環境活動

地域の井戸水の無料検査

社員の環境資格取得の支援

環境活動レポートの作成、公表

## 5 . 環境活動の取組結果とその評価

### 5.1 実績のまとめ

表3に2009年4月から2010年3月まで、E A 21を運用した結果を示します。

表3 取組結果のまとめ

取組目標	単位	2008年度 実績	2009年度 目標	2009年度 実績	目標達成 確認
購入電力量削減	kW	318,078	311,716 以下	321,520	×
紙購入量削減	枚	189,500	185,710 以下	249,500	×
紙類リサイクル	Kg	2,598	2,675 以上	927	×
廃液・汚泥減量	Kg	7,542	7,542 以下	7,126	
節水の実施	m <sup>3</sup>	2,299	2,253 以下	2,585	×
地域環境活動参加	人	19	20	22	
環境資格の取得	人	-	3 以上	9	

### 5.2 全般的な評価

取組目標として購入電力量の削減でマイナス2%、紙購入量の削減でマイナス2%、節水の実施でマイナス2%の目標値を掲げて取り組みましたが、いずれも2~30%の増加となり、目標値を達成することができませんでした。社員の取り組み状況は常に監視（活動状況チェック表）しており、環境活動は間違いなく実施されていることから、増加の要因は業務量の増加、すなわち社員数の増加（26から30人）及び客先サービスの面で実施した土曜の交代出勤によるものと考えています。

紙のリサイクル量はプラス3%を目標に活動しましたが、達成することができず65%の減少となりました。

廃液・汚泥の減量及び地域環境活動への参加及び社員の環境関連資格の取得については、目標を達成することができました。

### 5.3 個別の取組の評価

#### 5.3.1 電気使用量の削減

夏場のクーラー使用量の節約や不在時の消灯等について取組ましたが、目標を達成することができませんでした。最も大きい要因はサービスの向上を目指した土曜日の交代勤務制の実施にあると考えています。

#### 5.3.2 紙購入量の削減



今年度の年間の紙購入量は目標値より、約 30%増となり大きく未達成となりました。その原因は「作業環境報告書」の作成業務の増加に伴う紙使用量の大幅な増加と考えています。両面コピーや片面未使用紙の再利用などをさらに徹底していきます。

#### 5.3.3 紙類のリサイクル

紙類のリサイクル量はプラス 3%を目標に活動しましたが、達成することができず逆に 65%の減少となりました。紙のリサイクル量については、社内の紙類のストックを整理する際に生じる廃棄紙類の変動が大きな要因となっており、数値管理が難しい面もありますが、徐々に落ち着いてくると考えています。

#### 5.3.4 廃液・汚泥の減量化

廃液・汚泥の減量目標は前年度並みとしましたが、実績は 17%減となり、目標を達成することができました。廃液・汚泥の内容は実験室から出る試験廃液及び分析に供した土壌や汚泥の残分であることから、より廃液を少なくすることを常に考えながら分析業務を行うことや土壌サンプルについては、持込量ができるだけ必要最小限にするなどの努力を引き続き行っていきます。

#### 5.3.5 節水の実施

水道水の年間使用量はマイナス 2%を目標に活動を実施しましたが、逆に 11%の増加となり、未達成となりました。その要因としては、業務量の増加による蒸留水製造装置（冷却水：水道水）の稼働時間の増加が考えられました。蒸留水の製造についてはコスト面を含めて検討しています。

#### 5.3.6 地域の環境保全活動への貢献

当社は環境関連の計量を主な業務としていることから、地域の環境活動を支援することが可能です。そこで、環境保全活動への参加をエコアクション 21 の活動の大きな目標ととらえ、実施しました。さらに本年度から社会に貢献し、かつ当社にとっても有効な取組目標として「社員の環境関連資格の取得」の支援を掲げ活動しました。今年度では、環境活動への参加目標数を 20 名以上、環境資格の取得者数を 3 名として取り組んだ結果、それぞれ 22 名と 9 名となり、達成することができました。

（大濠公園と樋井川の環境活動）

大濠公園の環境活動としては、毎月 1 回、実施されている大濠公園クリーンアップ隊の清掃活動に参加しています。毎回、2 名ずつの参加を目標としています。

樋井川の環境活動としては、福岡大学工学部社会デザイン工学科（水圏システム研究室、渡辺准教授）と地域の住民で組織している「樋井川を楽しむ会」が実施している環境活動に参加しています。このボランティアグループは小学生を含めた住民の方々と共に、河川の一斉水質調査等も実施していることから、

当社は今後とも、そのような行事に協力して行きたいと考えています。



写真1 樋井川の清掃風景



写真2 大濠公園の清掃風景

(地域の井戸水の無料検査)

当社は水質分析を業務としていることから、地域の井戸水の無料検査を環境活動として、実施しました。2009年8月に地域のコミュニティ紙「まい、たうん」で無料検査することをよびかけたところ、64件の依頼がありました。実施後、依頼者からお礼の手紙や御茶菓子を頂くなど、地域との繋がりができると共に当社のPRともなり、たいへん大きな効果があったと考えています。

(1) (月曜日) 第579号 まい・たうん 2009年(平成21年)8月10日

発行所  
まい・たうん事務局  
〒811-1201  
福岡市東区南住1丁目1-46  
電話092-6201  
TEL 092-6206  
FAX 092-6207  
mytown@info.ocn.ne.jp

MINI CO

「上野先輩に続け!」柏原中

お盆の供物の収集は8/15(土)

大池通りの歩道拡張整備進む 今年中に完成

地域貢献で地もに恩返し

24年目(株)新日本環境コンサルタント

地域の水質検査

お見合いしませんか? 良縁をご紹介します!

お見合いの受付時間 09:00~20:00  
★お見合いの受付時間 11:00~15:00(お見合いのみ)  
★交通アクセス(次瀬戸バス停前・野地大池バス停より5分)  
NPO法人西日本フレイグタル福岡正支部  
NPO法人マイタウン福岡  
〒811-1201 福岡市東区南住1丁目1-46  
電話092-6206

8月 Summer Contact Lens しの

( 社員の環境資格取得の支援 )

「エコアクション活動手順書」に社員が環境資格を取得する際の講習会への参加費、受験費の支援、また、資格取得した際には「資格手当」を明文化するなど、社員の環境資格取得の支援を行いました。その結果、本年度内に9名が資格を取得しました。環境資格の取得は本人及び当社のみならず広い意味での社会環境の三者にとって有意義なことと考えており、毎年、支援を続けていく予定です。

指定資格	手当 (円)	講習受講料 (円)	受験料 (円)	登録料 (円)
技術士	20,000	12,000	11,000	36,500
技術士補	5,000	12,000	14,000	21,500
環境計量士(濃度)	10,000	48,000	8,500	19,900
環境計量士(騒音、振動)	10,000	13,000	8,500	19,900
作業環境測定士 1種	5,000	80,000	13,900	25,800
作業環境測定士 2種	3,000	80,000	11,800	25,800
臭気判定士	5,000	12,000	27,000	30,000
放射線取扱主任者	3,000	40,000	9,900	20,000
特別管理産業廃棄物管理責任者	3,000	12,000		
水道技術管理者	3,000	260,000		
公害防止管理者	3,000	35,000	6,000	

5.4 エコアクション21に係るその他の取組(ツクシオオガヤツリの保全)

ツクシオオガヤツリはカヤツリグサ科の湿地植物で、福岡県指定天然記念物、環境省レッドデータブック絶滅危惧種IB類に指定された植物です。福岡市の大濠公園に隣接する小さな池にわずかに自生しています。この植物を実験室で栽培し、種の系統を保存すると共に、水質の浄化に利用しようとする研究に協力しています。九州産業大学土木工学科(加納研究室)が植物の栽培と水処理実験を行い、当社が水質分析を担当しました。結果は2010年3月に開かれた水環境学会、九州支部大会(北九州市)で発表しました。



写真3 ツクシオオガヤツリの保全の実験



写真4 ツクシオオガヤツリ

(福岡県指定天然記念物)

#### 5.5 エコアクション21の広報活動

当社の取引先及び来客者に環境活動レポートを配布し、エコアクション21の取組について公表しています。

#### 5.6 次年度の取組内容について

次年度においても本年度と同様に二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減等に取り組めますが、当社の業務内容及び量は年度当初に行われる入札等の結果により大きく変化します。その結果、本年度の取組結果にも現れたように、取組目標の数値管理が難しい面がありますが、目標に向かって堅実に努力いたします。また、当社が最も得意とする環境関連活動の面での取組目標を確実に達成していきたいと考えています。

## 6．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

---

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。しかし、2009年10月に福岡市から「下水への排水中から四塩化炭素が排除基準を超える濃度で検出された」との指摘を受けました。直ちに、原因究明と貯水槽の洗浄、四塩化炭素の使用停止等の対策を取りました。その後、月2回、他の有機溶媒を含めて、自主監視として排水中の濃度を測定していますが、全く検出されておりません。その他、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情はありません。

## 7．代表者による全体評価と見直し結果

---

2009年5月の「定期的見直し」での指示は以下のとおりでした。

- 1．当社が環境計量事業者であることから、環境目標の「地域の環境保全への貢献」をさらに強力で押し進める。
- 2．環境活動（大濠公園、樋井川）への参加人数を増やす。
- 3．社員が環境関連の資格を取得することを支援するシステムを作る。

以上の指示に基づき、環境方針の一部変更、手順書に資格支援の項の追加等について、文書の変更を行い、活動を実施しました。大濠公園や樋井川の環境活動については、主催者の活動予定をできるだけ早く社員に伝えることにより、参加人数の増加を目指しました。